
戯言シリーズの謎。

鈴乃音頃時

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戯言シリーズの謎。

【Nコード】

N4655M

【作者名】

鈴乃音頃時

【あらすじ】

西尾維新さんの代表作である『戯言・零崎シリーズ』の数々の謎を独自解釈で解き明かしてしまおう！ 自己満足ともいう（という）思いつきのもと作者が考察という名の暴走をします。ご都合主義？原作うる覚え？ そんなの関係ねえ！

寛大な心で読んでくださると助かります。

殺して解して並べて揃えて晒してやんよ(前書き)

作者の戯言を語っているだけです、これは華麗にスルーしても構いません。

殺して解して並べて揃えて晒してやんよ

はい、ということですか？）、鈴乃音頃時すずのねころじと申します。

今まで読み専で色んなもの読み漁っていましたが、そこで気づいたこと。

『考察系が・・・ない・・・だと・・・』

そんなわけで、今回書いてみようと思いついた次第d・・・あれ？
なんで人識くんナイフこっち向けてるの？ちよっ、やめっ・・・ア
ッ
！！

・・・すいません。調子に乗りました。

ここで注意書きをば。

この作品には、ご都合主義による解釈が多分に入っています。
それが不快に思う方は、どうぞ戻るボタンをポチッとな と押して
ください。

また、これはあくまでも僕の個人的考察ですので、自己満足以上の
他意はありません。

矛盾点も指摘してくださると嬉しいです。むしろしてほしい。是非
語り合いましょう。

では、『戯言シリーズの謎。』をどうぞ。

戯言だけどね。

殺して解して並べて揃えて晒してやんよ(後書き)

次から考察が始まります。

いーちゃんの本名についての考察（前書き）

今回の考察、『いーちゃんの本名について』は、もともと自分の個人的HPであげていたものです。

また、この考察には多分にご都合主義的解釈が入っています。それを踏まえた上で、読んで下されば幸いです。

感想・批評・間違い指摘、大歓迎です。

いろんな意見を聞きたいのです。

ではではとござ。

いーちゃんの本名についての考察

西尾維新著 戯言シリーズの最大にしてハイエンドの謎 『いーちゃんの本名』について考察してみようと思った。

「何故、今更？」と思った方もいると思うけど、うん、今更だね（笑）

まあ、実を言うと、ある人の考察を見て、触発されてしまったんだ。僕って、乗せられやすい性格してるからね。

もちろん、本名を検索してみれば、たくさんの解があるけど、ここでは、同じこと書いても仕方がないから、違う解を提示するよ。

いたらない所ばかりだけど、温かく見守ってくれると嬉しい。

注意。

一応、これにはネタバレ（？）的なものもあるから、読むなら、シリーズを全て読んだ、もしくはネタバレを気にしない豪胆な心意気をもって読んでほしい。

そして何より。

これには仮定や想像で補う所が多々あるので、それを許せる寛大な心で持って読んで貰いたい。

では……考察をはじめのもの、悪くない。

さて、ここから本題に入ろうか。

まず、大前提をば。

戯言シリーズの主人公である『いーちゃん』。

彼は、作中で本名を明かしたことはない。(明かす場面はあるが、伏せられている)

しかし、シリーズ第三巻の「クビツリハイスクール」では、策士である『萩原子荻』と名前あてクイズを行っていた。

それによるヒントをまとめると、

・あだ名は、『いーちゃん』『いっくん』『いの字』『いー兄』
『いーの』『いーたん』『師匠』『戯言遣い』
・母音が8、子音が7(訓令式、へボン式等は不明)
・「あ」を1、「い」を2、「う」を3・・・「ん」を46と
したときの名前の総和は、134。

ちなみに、これだけで文字列は、100万通りあるらしい。

・・・さて、これでどうしろと?(汗)

かの頭脳ハイエンド級の子荻嬢はこれだけで即解をしたが、もちろん、そんな離れ業は不可能と言っても過言では無い。

しかし、「世界の中心でマイを叫んでみたけども」の管理人であらせられるクロイノ様（勝手に名前を出してごめんなさい）は、素晴らしい考察で解を導き出している。

クロイノ様曰わく、

「萩原子荻は、他にも何かヒントを質問以外に得ていたのではないか？

例えば、『零崎一賊』は、一賊特有の雰囲気を持っていて、ある程度の者ならば、わかるようだ。

そうでなくとも、ある程度の名前ならば、殺し名であるか呪い名であるかや、どこの世界（政治の世界、暴力の世界）所属等は雰囲気 でわかるようだ。

では、いーちゃんの名字はある程度名の知れたもので、萩原子荻はその雰囲気を感じ取ったのではないか？」と。

しかし、いーちゃんは西尾維新曰わく「どこの世界とも張れる名前」であるらしいし（出所不明）、何より、あそこまで本名を隠しているいーちゃんの名字がどこかしらの世界の所属である、とは、正直「つまらない」ではないか（すいません、あくまで個人的意見です）。

しかししかし、あまり特殊な名前では、玖渚友や玖渚機関との繋がりが無くなってしまうのではないか。

なら、こう考えてみてはどうだろう。

「イーちゃんの名前は、玖渚機関とは『昔』に関係があつて、『今はない』ものではないか」
と。

ここで考えてほしいのは、玖渚機関を構成する名前だ。

吉外、式栞、参禅、……玖渚。

さて、四以降は忘れてしまいましたが（汗）、ここで言いたいのは、一つ。

『玖渚機関は、現在なぜか「七」のつく名が無い』ということだ。

さて、さてさて、これが意味するものは何なのだろう？

ここからは想像だが、玖渚機関には、昔「七」のつく名があり（実際、『七漆』というものがあつた）、何らかの理由で、玖渚機関から外れた、もしくは外されたのではないか。

しかし、それでも繋がりはある、ということとは、機関自身が外したのではなく、そして、どこの世界の所屬でも無い、ということは、「どこの世界とも関わりを持っていた、もしくは持たされていた」ということではないか。

それは、たとえば、全ての世界を巻き込み、どこも壊滅的ダメージを受けた10年前の『大戦争』の時代でもいい。いや、これこそが、『七』が無い理由の伏線なのかもしれない 都合良すぎ

そして、上にも書いたが、イーちゃんの名前は「どこの世界とも張れる」名字。

これはつまり、『世界の中立』であり、しかし、玖渚機関寄りである名字である、と、捉えることはそこまで無理では無いはず（キツ

いなあ)

なら、いーちゃんの名字には「七」がつき、しかし玖渚機関から外れた『証』がある。つまり、『七では無い』という『証』がある、と僕は考えています。

これらの仮定や想像をもとに導き出した名字、それは、

七ではない 七の位置ではない 七の位置を否定

『ひなない否七位』

ではないか、と考えてみた。

うーん、何かありそうではありませんか。(無理があるなあ)

また、戯言シリーズの第一作である『クビキリサイクル』では、いーちゃんは時計で七の位置に食卓では座っています。

ななななみ ななみ(漢字忘れたorz)も、いーちゃんは本能的に好きではなかったみたいだし、彼女は零崎シリーズでは出ましたが、本編ではずっと登場せず、謎のままでした。これも、いーちゃんの名前が最後まで明らかにされていないことと似たような状況を作ること、いーちゃんの名字が七と関係がある、という伏線にもなっているのではないでしょうか。

長くなりましたが、これで名字についての考察終了。

次は、名前です。

まず、最初の萩原子菫との名前当てクイズの質問にもどります。

萩原子菫は最初にあだ名を聞きましたが、ここで、いーちゃんの本名について思い出しましょう。

いーちゃん曰わく、

「ぼくを本名で呼んだ人は三人しかいない」そうです。

なら、本名で呼んだのは三人だけなら、他の人達のあだ名はどこからとったのでしょうか？

これに対する答えとして、いーちゃんは偽名を持っており、普段は偽名を遣っていて、他の人達は偽名からとっていたのではないかと考えられます。

なら、本名を知りたいなら、本当に注目すべきなのは、『本名を呼んだ3人がつけたあだ名』です。

さて、3人とは、この場合、玖渚友、井伊遥奈、想影真心、の3人ですが、3人のいーちゃんにあだ名は、『いーちゃん』なのです。

なら、本名そのものが『いーちゃん』と読めるのではないか、と考
えられます。

また、玖渚友によれば、最初にいーちゃんを『いーちゃん』と呼ん
だのは、妹の井伊遥奈でした。

しかも、いーちゃんが妹だと知らなかっただけで、井伊遥奈とは小
さいころから知り合いました。

なら、いーちゃんは名前をひらがなで書いて教えたこともあったか
もしれません。

この時、いーちゃんは本名を書いたのか？

しかし、僕は本名は書かなかったと思います。

何故か？

それはまた後に説明します。

次に、忘れてはいけないのは、零崎人識との関係。

西尾維新は、「零崎人識はいーちゃんと対になるもうひとりの主人
公」と語っています。

クロイノ様の考察を引用すれば、

零崎人識＝いーちゃん

零崎 等しき（＝）いーちゃん

零崎 等しき ーちゃん

『零 等しき ー』

そして玖渚友との関係を考慮すれば、

玖渚友と言えばコンピューター
コンピューターと0と1

十六進数

しかも、この『十六』という数は、いーちゃんの名字が『否七位』だとすれば、否七位の『七』と玖渚の『玖』を足した数にもなりま
す(キツいなあ)

よって、いーちゃんは『一』の字が入ると思われます。

あとは、『一』^{いち}がつくとして、残りの字を組み合わせるだけです。
そして、考えた解がこちら。

『否七位 一役』^{いちやく}

『役』は、零崎人識に揶揄された『欠陥製品』から、たつた「一役」に収まることもできない、なりきることもできない、というイメージを込めて。

そして、先ほどのいーちゃんがひらがなで名前を書くとしたら、偽名を書いた、という話に戻ります。

本名が否七位一役だとしたら、偽名は何を使うのか？

ここは、「井伊」でいいと考えます(ダジャレではありませんw)。

また、零崎人識も偽名を用いていましたが、彼は偽名を遣うとき、『汀目 俊希』と、名前の字を一つ削っています。

また、零崎軋識も零崎舞織も、自分の名前に戻る時は、名前の字を一つ削っています。

つまり、戯言シリーズの世界では、『「表名」から「裏名」になるときは、名前を一字増やし、「裏名」から「表名」になるときは、名前を一字削る』、という法則が成り立っています。

なら、いーちゃんもそれに習うとしたら？

この場合、「いちやく」の「い」を削ります。

すると、表名は、

『いい ちやく』

となります。

僕の言いたいことがなんとなくわかった方がいると思いますが、呆れずに最後までよろしく願います。

もしこれを、7〜8歳のころのいーちゃんが砂場で遊んだ時に書いたとしたら？

「いい」はまだ問題ありません。

問題は「や」と「く」です。

小さい遥奈の目に、「や」が小さく、「く」が「ん」に見えたとし

たら？

『いいちゃん』

そう、『いいちゃん』です！（無茶すぎるorz）

また、一巻でいいちゃんが千賀てる子に言った名前が無くて、十年間の話もこの名前なら、

否七位 一役 一七一一八九 171189

と数字で表せるので説明できます。

また否七位一役を別の読み方をすれば、『いないひとやく』『いない人役』 傍観者

となります（？）

長々と語りましたが、これにて、いいちゃんの本名は、『否七位一役』であるとして、僕の考察は終了します。

最後までお付き合い頂き、ありがとうございます。

いーちゃんの本名についての考察（後書き）

お疲れ様でした。

いかがでしたでしょうか？はい、自己満足でございますね、わかりますw

w
w

感想・批評、その他もろもろ待ってます。

次は『ペリルポイント寸鉄殺人』の考察でもしよつかと。

他にも「これやれ！」とか要望があれば、そっちも考えます。

それでは。

『寸鉄殺人（ペリルポイント）』の謎（前書き）

今回は『寸鉄殺人^{ペリルポイント}』について考察します。

結局、最後まで明かされなかった最強の零崎の片鱗を、この話で掴むことの手助けになれば幸いです。

ではでは、どしどし。

『寸鉄殺人（ペリルポイント）』の謎。

『ペリルポイント寸鉄殺人』。

曰わく、あの零崎一族の長兄
を拝すると言われる強さ。

『マインドレンデル自殺志願』 零崎双識すら後塵

曰わく、西東天の零崎殲滅計画での面影真心との闘いで、殺されはしたが、右下るれるが零崎三天皇の一人である『シムレスパイアス愚神礼讃』 零崎軋識との闘いで「『寸鉄殺人』ほどではない」と評価したほどの実力。

零崎シリーズでその異名と噂しか情報はなく、結局、最後まで明かされなかった、いーちゃんの本名と並ぶのではないかと思うほどの謎。

今回の考察は、『寸鉄殺人』の謎について考えますが、いかんせん、情報が少なすぎます。しかし、それでもやると決めたらにはやるのが作者の意地。
頑張っていきましょうー！

では、

考察を始めよう。

さて、『寸鉄殺人』について考える上で、重要なことはなんだろうか。

そう、まずは、その数少ない情報を整理することだ。

ということで、人間シリーズの三冊（人間試験・人間ノック・人間人間）を一冊40〜50分で流し読みして探した結果がこちら。

試験P116 現時点で一賊で一番有名な殺人鬼

ノックP116 あの『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}に関しては、後塵を拝することになってしまう（零崎双識と比べて）

人間P94 ペリルポイントから渡された一塊の火薬（零崎曲識）

人間P209 あのペリルポイントってやつほどじゃないにしても、あんたはそこそこ頑張ったほうさ（右下るれるが零崎軋識に言った）

・・・わかってたけど、本当に少ない（汗

まあ、気を取り直して、これらと他の寸鉄殺人とは直接関係ない情報から攻めていこうと思う。

また、見逃したかもしれない、と思い、戯言シリーズWikiというサイトがあったので見てみたら、『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}の名前が「零崎常うしき」

識」となっていたが・・・これには個人的に反対意見を言わざるを得ない。

第一に、根拠となる情報が何も無いこと。

第二に、男と決めつけていること。

なぜなら、僕の考察では、『ペリルポイント寸鉄殺人』は女性の線が強いからである。

そもそも疑問が残る。

原作での話によれば、実力は零崎双識と一、二を争い（試験では寸鉄殺人、ノックでは「恐らく」がつくが双識）、右下るれるに、真心との闘いを見て、零崎軋識に向かつて、上の「ペリルポイントほどではない」と言わしめたほどの力をもつ『寸鉄殺人』が男だとしたら、零崎双識・零崎軋識・零崎曲識からなる「零崎三天王」に何故名が拳がらないのか。それなら「四天王」にするはずだ。しかし、実際はそんなことはない。

つまり、これは『ペリルポイント寸鉄殺人』は彼ではなく彼女だったのではないかと推測できないだろうか。

そして、双識が「妹が欲しい」とよく言うことから、双識には妹となる年下の女性はいないことになり、彼女は少なくとも双識の歳と同じ、もしくはそれ以上の、いわば、「姉」なのではないかと考えられるのだ。

また、『寸鉄殺人』が女性であるならば、双識よりも有名と言われる所以も説明できる。

なぜなら、零崎一賊で女性は稀まれだからだ。

稀有な女性で、しかも、実力はあの双識と並ぶもの。
これなら、その知名度が高いのも納得がいくというものだ。

以上の結果から、『ペリルボイント寸鉄殺人』は、女性で、双識と同一年かそれ以上ほどの人、ということになる。

さて、『ペリルボイント寸鉄殺人』の性別や年齢を考察したところで、次はどんな得物を用いて、どんな戦闘スタイルで殺していたのか、ということに触れよう。

これを考える上で重要なことは、やはりその異名だろう。
戯言の世界では、『名は体を表す』というものが顕著に顕れている。
例えば、『マインドレンデル自殺志願』の零崎双識は、自らの愛器である『自殺志願』の鋏を使わない方が圧倒的に強いのに、あえて鋏を使い、死ぬ（殺される）確率を高めて死ににきているとしか思えない、そのスタイルから異名は名付けられたと考えられる。

他の異名『首斬り役人』、『二十人目の地獄』だが、前者は『自殺志願』の鋏を使った殺し方であり、わかりやすいが、後者は少しわ

かりにくい。

これは、零崎一賊に関係した名前だと僕は考えている。

零崎一賊は人間試験の時点で二十五人いるが、だいたい一賊は数が二十人前後が相場であり、また、零崎双識は一賊の長兄を自負している。つまり、一賊の代表者だ。

この異名は、一賊に対する忌避とその代表者に対する畏怖を込めたものだと思われる。

また、愛器の缺は『双』刃をハンドルねじで留めた武器であり、これはまさに『名は体を表す』を体現している。

例えば、『シームレスバイアス愚神礼讃』の零崎軋識は、その異名の愛器である釘バットで、一本足殺法と呼ばれる周りの人、動物、植物、全てを原型を留めなくなるまで殺し尽くすその様子から、常軌を逸している、正気じゃない、という意味合いを込めてこの異名が呼ばれたと思われる。

また、釘バットで何かを殺す時、その何かは、殺される直前

正確にはバットに触れる一瞬だが、『軋』みを感じるのではないか。

これは釘バットならではの感触だろう。

これも『名は体を表す』を体現している。

例えば、『ホルトキープ少女趣味』であり、『ベジタリアン菜食主義』である零崎曲識は、「少女以外殺さない」という信念を貫いたその生き様が異名となっている。

また、彼自身は音楽家であり、自作の『曲』で人を操っている。これもまた、『名は体を表す』を体現している。

零崎人識は・・・原作を読もう（笑）

まあ、そんなわけで、戯言の世界では、

異名はその人の生き様、戦闘スタイルを表す。

零崎では、名前は男は「識」、女は「織」が最後につけられ、前の一文字はその愛器の特徴やその人の個性を表していると考えられる。

これが成り立つと仮定し、『ペリルポイント寸鉄殺人』について考えていこうと思う。

ではまず、「寸鉄殺人」という言葉を調べてみよう。

四字熟語辞典では、

「ちよつとした一言や批評で、ずばりと他人の急所や弱点を突くこと。ごく小さな刃物であっても人を殺めることができるという意味。鉄は武器や刃物。」

また、ペリルポイントは英語で『Peril Point』であり、perilは「危険」という意味があり、pointは「尖った武器」という意味があるのだ。

ここまで調べたところで、もしかしたら、原作者の西尾維新さんが『ペリルポイント寸鉄殺人』を使わなかった理由が理解できるかもしれない。

まず、寸鉄殺人の説明の前文。
そこを見て、何かに気付かないだろうか。
また、その後の文や英語での意味を考えて、気付くことはないだろうか。

そう、実は『ペリルポイント寸鉄殺人』は、あの戯言シリーズの主人公である「いちちゃん」の戯言と、もう一人の主人公である「零崎人識」の異常なまでの『尖ったもの』好き、2人の特徴とも言えるものと丸かぶりしているのだ。

言ってみれば、『ペリルポイント寸鉄殺人』はいーちゃんと人識を足して2で割ったようなものとなのだ。

これは使いにくい。主人公とかぶる、というのは主人公を喰ってしまふことに他ならない。

たとえ、曲識に手榴弾を渡したことと異名から、『ペリルポイント寸鉄殺人』は様々な小さな武器を身体にたくさん身に付け、それを使いこなす、と考えても、それでも殺しの前口上でいーちゃんの戯言のような言葉を使うだろうし、人識のようにナイフなどを使いこなすだろう。

つまり、『ペリルポイント寸鉄殺人』は『ペリルポイント寸鉄殺人』であるがゆえに、物語に直接でることが出来なかったのだ。

そう考えると、彼女はなんて不憫なキャラクターなのだろう。
しかも、名前も明かされていない。
これでは、彼女が報われない。

そんなわけで、彼女の名前を考えてみよう。

形としては、女性の零崎なので、「零崎 織」というものになるだろう。

そして、彼女の武器は小さな武器を多数扱う中でも『寸鉄殺人』の異名を持つ、意味でいう所の『ごく小さな刃』の愛器（鉄）を持っていると考えられる。

また、彼女は口達者であり、いちちゃんの戯言のように、相手を翻弄するようなことも言っていただろう。

しかし、彼女はそれを「戯言」と口にしてはいない。

それは、面影真心と曲識との試合で曲識が「戯言」と口にした瞬間に真心が暴走したことから明らかだろう。

さて、そんなことから、彼女の名前を考察するが、名前をいちちゃんよりの戯言のイメージにするか、得物をイメージしたものにするか、はたまた両方のイメージを併せ持ったものにするか、で悩む。

なら、どれも作ってみればええやん

そんな安易な電波が届いた。

だが断る！

ごめんなさいごめんなさい思いつかなかったんですええだいたい名前は1つで十分なんです偉い人にはそれがわからんのd（ry

ってことで、両方を併せ持った名前を考えてみた。

零崎 ひゃあり
冷織

僕は彼女の愛器の『寸鉄殺人』は、特殊な『針』なのではないか、と考えている。言の葉や体術、様々な手をつかって相手の間合いに入り、相手の急所に針を差し込んで静かに殺す、というような戦闘スタイル。

また、彼女は手榴弾を曲識に渡したことから投擲も得意だろうけど、手榴弾で爆破させるくらいの派手さなら、ごく小さな針を扱った接近戦、それも超接近戦もそのノリでいけるはず。相手の間合いの奥深くにも入っていかなきゃいけないその戦闘スタイルは見ていて冷や冷やもの。あと、言葉を武器にするなら、常に冷静な頭が必要なのは。

心は熱く、頭は冷静に。

それをあらわすため、彼女は零崎以外を名乗る時、「火織」という字になるようにしてみた。

と、
いうわけで、僕なりの『ペリルポイント寸鉄殺人』の結論。

女性。

歳は双識以上（軋識くらい？）。

数々の小さな武器を身に付け、投擲や近接戦、心理戦などオールマイティーな殺人鬼。

名前は零崎 冷織。

表名は「火織」。

今回の考察はこれまで！

ここまで読んでくれた皆様に多大なる感謝をしつつ。

『寸鉄殺人（ペリルポイント）』の謎。（後書き）

お疲れ様でした。

いかがでしたでしょうか？

はいはい、自己満足乙ですね、わかりますwww

リルさん（双識たちが呼び合ってる風）の名前は、作者が勝手につけたものなので、「こんなんで？」とか「お前のよりすごいのできたから見せてやんよ」とか気軽に名前を付けて感想に書いたりすると、作者が狂言乱舞したり、リルさんが浮かべれます（笑）

感想を下さった三木拓矢様、ありがとうございました。

今回はリクエスト通り、巫女子ちゃんの比喩表現解読方法について考察しますので、期待せずにのんびり待ってやってください。

では ノシ

『寸鉄殺人（ペリルポイント）』の謎 追加訂正版（前書き）

三木拓矢様からのご指摘を受けて、改めて考察した『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}の謎です。

前回とは被らないので前回のをお読みでない方は前回のを先にお読みください。

結構意外な結果となるはずですので、楽しんで頂ければ幸いです。

ではどうぞ。

【訂正】結局、『寸鉄殺人』は人間人間P90に、「零崎最強の男」とあったように男で間違いないようです。

指摘してくださった零岬試幽様、ありがとうございます。

しかし、ここで本文を変えるのはまずい、と思い、そのまま残しておきます。

本当に申し訳ありませんでした。

（7/17）

『寸鉄殺人(ペリルポイント)』の謎 追加訂正版

前回の考察で、三木拓矢様にご指摘いただいた情報

人間関係 匂宮 出夢との関係より

P151 人識の台詞

「あなた、出夢にやられたのか？すつげーな、あいつ こんな人体破壊、人間にできるもんなのかよ。ペリルポイントの野郎の不愉快爆弾だつて、ここまでの一点爆破はできねーんじゃねーか……？」

この台詞から、『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}は、出夢の『一喰い(イーティングワ
ン)』ほどではないにしても、部位を爆破させる『不愉快爆弾』と
いう技を持っていることがわかります。

曲識に手榴弾を渡したことから、『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}は爆弾主体の殺人
鬼だったのでしょうか？
しかし、ここにも疑問が生じてしまいます。

仮に『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}が爆弾主体の殺人鬼だとすれば、『寸鉄殺人』^{ペリルポイント}の
異名が説明できません。

先の考察で書いた通り、「寸鉄殺人」の言葉の意味は、

『ちょっとした一言や批評で、ずばりと他人の急所や弱点を突くこ
と。ごく小さな刃物であっても人を殺めることができるという意味。

(四字熟語辞典)

鉄は武器や刃物。』

であり、ペリルポイントは『Peril Point』であり、『危

険な尖った武器』『危険な剣先』といったような意味なのです。

これは、上の人識の台詞にある『不愉快爆弾』と呼ばれる技にある一点爆破に関係してくるものですが、果たして、爆弾に尖ったイメージなどあるでしょうか？

それに、もしも爆弾を主体とするなら、もっとそれを表すような異名で呼ばれるはずです。

しかし、曲識に手榴弾を渡したことから爆弾を用いたことは確実ですし、「爆弾」という言葉から離れてもいけません。

そこで考えたこと。

ごく小さな刃（たとえば針）を使って、部位をまるで『爆弾を使つたように（・・・）』爆破させたのではないか？

具体的な方法は説明すると、なかなかグロテスクでスプラッタなものとなりそうなので、苦手な方のために、ここはいったんページを変えましょう。

パソコンからの方は高速スクロールでなるべく見ないようにしてください。

さて、ここからは『ペリルポイント寸鉄殺人』の戦闘スタイル、もとい、彼女の殺し方について考察しようと思います。

彼女の戦闘スタイルは、対軍戦（多対一）の場合、手榴弾などの爆弾を主体にしていくのだと思いますが、問題は個人戦です。

というか、戯言の世界では、この個人戦くらいしかないので思います。

殺し名はプロのプレイヤーですし、誇りもあつたでしょうし、個人戦は多いことはあっても少ないことはないでしょう。

そんなわけで、大戦争以外で対軍戦闘はほぼ無いと仮定します。

すると、その異名『ペリルポイント寸鉄殺人』は、個人戦での彼女の戦闘スタイルにつけられたものとなります。

ここからは、僕の想像ですが、彼女は殺しを愉しんで、『ゲーム感覚』でやっていたのではないでしょうが？

僕がそう思った理由は、彼女の技である『不愉快爆弾』にあります。

まず第一に、この技は部位破壊型であること。

第二に、彼女の異名は『寸鉄殺人』であること。

第三に、僕が考えているこの技は、決まるとあまりにもグロテスクな結果が待っているうえに、彼女自身もかなりリスクを背負うはずだからです。

それでは考察しましょう。

彼女の異名の原因たる『不愉快爆弾』と呼ばれる技の考察を。

今度こそグロテスク&スプラッタです。読む際には鋼の心を持って読みましょう。

では、彼女の技『不愉快爆弾』の考察。

まず、彼女はこの技を「必殺」として使うであろうこと。

そう、この技が決まった瞬間、相手はもう死んでいる、という風に。

彼女の異名は『ペリルポイント寸鉄殺人』。

。僕が考えるに、彼女の愛器は『ごく小さな、見えなくらい細い針』

彼女は言葉巧みに相手を翻弄し、相手に接近し、胸の周りに針を打ち込んでいく。

それも一回ではない。

そうだろう。

『心臓に繋がった血管を詰まらせる』には、とてもじゃないが、一回では済まないだろう。

彼女は一回針を打ち込む度に言う。

「針目……残り 針」

相手はその言葉の意味がわからない。だが、徐々にわかっていくのだろう。血管を詰まらせられていく度に、酸素が運び込まれなくなっていく、体は異常をきたし、吐き気などで気持ちも悪く、さらに相手の意図が徐々にわかっていくその過程はまさに『不愉快』だろう。

異常をきたす身体を戻す為に、血液は流れを強くし、詰まりを壊そうとする。

彼女の狙いはそこにある。

心臓の周りにある血管のある一点を除いて詰まらせる。

その一点とは、『心臓に戻ってくる静脈血管』。

彼女は笑い、そして言う。

「不愉快爆弾」

勢いをあげる血流。

流れる先は心臓。

しかし、針で詰まらせたことで、そこで行き止まり。

尚も流れる血流。

辿り着く結果は、「心臓破裂」。

胸から噴き出す赤い華が、戦闘の終わり、そして彼女の勝利を物語る。

それはまさに、『不愉快爆弾』と呼ぶに相応しい。

実際にこんなことができるかはわかりませんが、戯言の世界なら何があっても不思議じゃない！と逃げてみます。

まあ、何はともあれ、つまり、彼女の技『不愉快爆弾』は、人体の内部から破壊する技である、と考察しました。

僕が言った彼女が殺しを愉しんでいる、ゲーム感覚なのではないか、といった理由もわかるのではないのでしょうか。

針を打ち込むには相手の間合いに入らなければなりません。それに何回も。

つまり、生死のやり取りを何回もしている。

そんなリスクを背負った彼女の気持ちは、まさにゲーム感覚で愉しんでいると見てもいいでしょう。

そして、技を決めた時の達成感も彼女がリスクを背負う代価として

は充分なのでしょう。

考察結果、ペリルポイント『寸鉄殺人』は、ごく小さな見えないほど細い針（結構たくさん）を愛器に使い、人体内部破壊技、『不愉快爆弾』で、相手をゲーム感覚で愉しんで殺す、ある意味『爆弾魔』な狂気の殺人鬼。

『寸鉄殺人（ペリルポイント）』の謎 追加訂正版（後書き）

お疲れ様でした。

いかがでしたでしょうか？

はいはい、自己満足乙ですね、わかりますwww

三木拓矢様、ご指摘ありがとうございます。

そして、すいませんでした。

僕の中では、「爆弾は比喻」という考えの下考察していったので、実際の爆弾の使い方は相手の逃げ道を塞いだり、相手の行動を絞り込むための一手段というものになってしまいました。

人識くんが「ペリルポイントの野郎」というようにあまり好かれな
い、いい性格してたんじゃないかと妄想してみたり（笑）

三木拓矢様、クトルーちゃん様、感想ありがとうございます。

リクエストはなるべく早く出せるように頑張りますので、今後とも
よろしく願います。

次は今度こそ巫女子ちゃんの比喻表現解読方法です。

ではでは。

巫女子的比喩表現まとめ（前書き）

今回はメモのようなものです。

ページ数も書いてありますので参照してください。

巫女子的比喩表現まとめ

クビシメP31 《中学二年生にしてバンド結成、ただしメンバー全員ベース》みたいなのっ！

いーちゃんが暇について語って誘いを断ろうとした時の台詞

クビシメP38 《二人の作家の卵、片方は無精卵で片方からは硫黄の匂い》みたいなの

いーちゃんが誕生日会行くのを「テンションが白濁沈殿する十九歳」と言ってる時の台詞

クビシメP46 《ラジオ体操第二、ただし時間がないのでヒゲダンス》みたいなのっ！

いーちゃんが電話にでたが黙っていて、巫女子が間違えたとき慌てた時の台詞

クビシメP66 《日本の裁判システムに陪審員制度導入、ただし陪審員は全員こまわりくん》みたいなのっ！

いーちゃんが遅刻してきた巫女子に少しいらっときてからかった時の台詞。

クビシメP78 《水冷式重機関銃二百連発、ただし暗殺部隊！》みたいなのっ！

酔っ払いの会話より

クビシメP92 《コンビニにて殺人事件発生、ただし犯人ローラーブレード着用》みたいな……

酔っ払って頭痛いと言った後の台詞

クビシメP102 《私服OKの一流進学校、なのに全員学生服》みたいなっ！

いーちゃんがラッタッタではなくベスパと呼べと命令し、驚いた時の台詞

クビシメP170 《素人探偵浅黄蝉丸、密室首斬り殺人事件を即座に解決、ただし犯人現行犯》みたいなっ！

いーちゃんが巫女子の家を訪ねた時の慌てぶりからでた台詞

以下、ヒトクイマジカル

P14 《ボックススクリーン直撃の大ホームラン、ただし始球式》みたいなっ！

いーちゃんが木賀峰約のことを知らなかった時の台詞

P16 《みんなで渡れば怖くない、ただし丸太橋》みたいなっ！

いーちゃんが江本智恵やむいみの白衣姿を想像したことを受け、不謹慎だといった後の台詞

P18 《打ち上げ花火百連発、ただし突き抜けるような青空の下で
《みたいなっ！》

いーちゃんが木賀峰約をやばい人と言って怒った時の台詞

P19 《百万ドルの笑顔、ただしマクドナルド》かつ

《サマータイム導入、ただし吸血鬼》にして

《顔面セーフあり、ただしボクシング》み・た・い・なっ！

いーちゃんが巫女子に背が低いと言った時の台詞。初三連コンボ。

巫女子的比喩表現まとめ（後書き）

次回本題に移ります。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩） の謎。く前篇く（前書き）

巫女子ちゃんの超比喩難しい。

今回は長くなりそうなので、一旦区切らせてもらいました。
では、どござ。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩） の謎。 ～前篇～

さて、やって参りました公開処刑。

作者の貧弱な頭では巫女子の超比喩（命名wiki）を解き明かすのはやはり無茶があつたと言わざるを得ないorz

しかし、リクエストを受けたからには全力で考察（という名の暴走）をする。

それが作者クオリティ……あれ？ 軋識さん何構えてるんですか？ いや待って、釘バットは止めようよ！ そんなので振り抜かれたら……やめ、アッ

！
ごめんなさい、調子に乗りました。

気を取り直して、それでは、

「かるーく考察を始めるちや」

さて、まずは巫女子の周辺情報からいってみよう（ネタバレ注意）。

葵井巫女子（19）

4/20生まれ。

みたいなの。

西尾維新曰わく、「名前先行型キャラ」。

「萌えキャラ」が犯人、というのを狙いにして書いたクビシメロマ
ンチストのメインヒロイン。（ザレゴトデイクシヨナル参照）

京都にある鹿鳴館大学の文系学科に通う一回生。

性格は、飛び抜けて明るい。しかし、この性格はいーちゃんに最後
までドン引きされていた（ザレゴトデイクシヨナル参照）

いーちゃんのが大好き。

いっくんと呼ぶ。

こんな感じですかね。

作者は『X/Y』の話が大好き。

まあ、ここでは関係ないので省略しますが（一応本編で種明かしさ
れてるよ）。

ここから本題。

さて、前話の《巫女子的比喩表現集》を見ながら説明をすると（タ
グ開いたり、画面メモしたりしながら読むとわかりやすいよ！）、
まず彼女の超比喩は、

《 ー、ただし（なのに）×××××（！）》みたいな

の形をとる。

また、共通することは、どれも後ろが前の事を台無しにしている、
ということ。

また、哀川さんやいーちゃんも巫女子の超比喩を真似ていたが、い
ーちゃんがヒトクイP19で「やっぱり本家は違う」と言っていた
ことから、ここではあくまで《巫女子ちゃんの超比喩》として、二
人のは除きます。

さて、ネットで検索してみても、彼女の比喩に意味は無い、タダ
のジョーク、という意見が多かったが、本当にそうだろうか？

たしかに、酔っ払っていたとき（お酒は二十歳になってから！）の
超比喩 《水冷式重機関銃二百連発、ただし暗殺部隊！》みた
いなっ！ は、突発的な台詞ではあったし、前後の会話ともか
み合わない。

しかし、酔った人間どうしの会話はかみ合わないことも多いだろう
し、彼女の超比喩の特徴ははっきり出ている。今回の超比喩は、「
機関銃の性能はすごいが、それをういるのが暗殺部隊では、性質上
役に立たない。宝の持ち腐れ」という意味がある、というのは簡単
に理解できるだろう。

また、「みたいな」という言葉の性質上、ここにはなんらかの比喩対象があるはずだ。

そんな仮定のもとに彼女の超比喩の数々を順番に考察してゆこう。

《中学二年生にしてバンド結成、ただし全員ベース》みたいなっ！

彼女の記念すべき最初の超比喩。ここから彼女の伝説が始まる。まず、この超比喩はいーちゃんが、巫女子が暇だと断定して江本智恵の誕生日に誘ったことに対し、暇について話して断ろうとしていたときに出たものだ。

ここで、上の超比喩の中身に触れていこう。中学2年といえば、部活などで中心となる時期。つまり主役となる時期だ。

また、今まで作っていないかった理由は、後のメンバー全員ベースだったことを考えると、単に人手が足りなかったからだろう。また、バンドを結成したとしても、ベースだけでメインとなるものがないし、単調すぎてつまらないものになるのは目に見えている。いうなれば、ステージに立つ主役がない状況だ。そんなわけで、今回の超比喩は、「主役となる時期にバンドを組んだ方がいいが、土台ばかりで主役がないからつまらない」という意味になる。

ここで、いーちゃんを主役と置いたらどうだろう？

今回の江本智恵の誕生日会は、『巫女子が好きになってしまった』つくくん（彼女はそう呼んでいた）という人物の人となり確かめるための『ステージ』でもある。それなのに、主役が来ないとなると、その会の真の目的は果たされなのまま、不完全燃焼に終わることになる。さらに、この超比喩の発音者はいーちゃんのこと好きな巫

女子だ。

彼女にとってはまさに「主役のないステージ」であり、そのステージは「つまらない」と感じてしまっただろう。

というわけで、今回の超比喩は、「いーちゃんのいない誕生会の場合の巫女子の気持ち」を表す、というものだ、と考察する。

《二人の作家の卵、片方は無精卵で片方からは硫黄の匂い》みたいな

超比喩第2弾。

巫女子の必死の誘いに対し、それでもいーちゃんが渋っている時に出た台詞。

これは、比較的簡単だろう。「作家の卵」とは、つまり将来、この先に期待を持てる卵だ。今回の期待の卵は無論、「いーちゃんが誕生会に参加してくれるか」といった所だろう。そして、その期待の卵は、「片方は無精卵」であり「片方からは硫黄の匂い」なのだ。無精卵は卵が孵化しない、つまり、「いーちゃんが誕生会に参加しない」ということ。また、硫黄の匂いとは、ゆで卵にある匂いだ。実は、硫黄には匂いはなく、熱せられた際に化学反応を起こし、「硫化水素」となった時の匂いが、よくいわれる「硫黄の匂い」なのだ。

そんなわけで、ゆで卵の状態では、卵は孵化しない。つまり、これも「いーちゃんが誕生会に参加しない」ということになるのだ。

つまり、今回の超比喩は、期待の卵はどちらも孵化しないので、「いーちゃんが誕生会に参加する」という可能性は絶望的ということを表すものだ、と考察する。

《ラジオ体操第二、ただし時間がないのでヒゲダンス》みたいなっ！

超比喩第3弾。

巫女子からの電話をいーちゃんは受けたはいいが何も話さず、巫女子が間違い電話と勘違いして慌てたときにでた台詞。

ラジオ体操は運動前に体をほぐすため、朝早くに体を起こし、一日のはじまりを快適にはじめるためにするものだ。また、あまりラジオ体操を一人でやるひともいないだろうから、ここでは運動会や、朝の集会の時にするような「多人数」でやるものと仮定する。

「時間がない」ということは、ラジオ体操をする時間がないということだが、はたして多人数でするようなものが、しかもラジオ体操という準備運動に欠かせないものに時間を縮めることがあるだろうか？まず無いだろう。まして、ラジオ体操は途中で切り上げられるものではない。よって、この「時間がない」は個人の問題だと推測できる。きつと寝坊でもしたのでだろう。

寝坊した、というのは往々にして心中穏やかではない。むしろ、焦りが前に出てしまうだろう。急いでラジオ体操をしている所へ向かうのはいいが、もうラジオ体操は終盤にさしかかり、まさに「時間がない」。

この時、運動会で次に自分の種目がある時ならどうするだろうか？あとで一人で体をほぐせばいいと言われたらそれまでだが、今は、寝坊して焦っている状態だ。そんな状況で、とにかく体を動かさなければ、と違って咄嗟に動いたものが「ヒゲダンス」なのではないだろうか（無理があるかもしれない（汗））。

そして、そんなことをすれば目立つのが道理。みんなが手や足をぶらぶらさせている時に、ヒゲダンスを踊ってるやつがいたら、間違いなく目立つし、やってしまった本人の恥ずかしさといったら、それは想像もつかないものだろう。

というわけで今回の比喩は、「間違い電話してしまったと勘違いして、それまでの自分の行いにとても恥ずかしい思いをしている巫女子の気持ち」を表すものだ、と考察する。

《日本の裁判システムに陪審員制度導入、ただし陪審員は全員こまわりくん》みたいなの！

超比喩第4弾。

巫女子が約束の時間に40分遅れたことに対し、いーちゃんが少し制裁をくわえた時の台詞。

この超比喩は、ネタを知っていれば理解できる。

「こまわり君」は、山上たつひこ氏の作品である「がきデカ」というギャグ漫画の主人公。彼は作中で「日本初の少年警察官」と自称しており、その彼のギャグを代表するものが「死刑！」なのだ。つまり、せっかく陪審員制度を導入しても、陪審員が全員こまわり君なら、みんな「死刑！」というある意味シニールで恐ろしいものができる。

また、彼女は、この台詞の前に、「ちよつと時間に遅れたくらいで暴力振るうなんて残虐だよ」と言っているし、いーちゃんも巫女子が来てから無言で制裁をくわえたことから、今回の超比喩は、「弁明むなしく無慈悲に制裁をくわえたいっくん（あくまで巫女子視点）」を表すものだと考察する。

今回はこれまで。

御清聴ありがとうございました。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩） の謎。 ～前篇～（後書き）

後編に続きます。

大学のテスト週間おわればもうちょっと更新できると思っているのですが

……言い訳ですね、すいません。

後編は、書きあがり次第載せるつもりですので、待っていてください
った皆様、本当に申し訳ありませんでした。

では、後編で会いましょう。 ノシ

葵井巫女子の比喩表現（超比喩）の謎。く酔っ払い時篇く（前書き）

力量不足だなあ、と思う今日この頃。

今回それほど進んでないので、途中経過のようなものです。

あとがきで、アンケート的なものをやるので、よろしければ答えて
やってください。

では、この考察が、超比喩を理解する手助けになれば、と祈
りつつ。

ごうぞ。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩）の謎。く酔っ払い時篇く

全ての言葉には意味がある。

例えば本人が否定しようとも、無意識化で意味は創りあげられている。言葉とは、口から放たれたその瞬間に独立し、存在するのだ、という意見もある。「噂が独り歩きする」という言葉もあるくらいだ。話は逸れたが、言いたいことは、彼女の超比喩も「言葉」なのだから、そうである以上、意味は必ずあるのだ。

そんな最もらしいようで、実は中身の無いことを語りつつ、

「考察を、開始します」

水冷式重機関銃二百連発、ただし暗殺部隊！
みたいなの！

超比喩第5弾。

葵井巫女子、江本智恵、宇佐美秋春の3人の酔っばらいの会話の中

で出た台詞だ。

内容については、少し前篇で話したことと変わる。

なぜなら、この機関銃は使用されていることに気付いたからだ。

というわけで、改めて説明。

二百連発も撃ってしまつたら、確実に目立つ。だが、「暗殺」とは、標的やその周辺に気付かれずに標的を殺すこと。まして、「部隊」である。確実に気付かれてしまう。

さて、いーちゃんもこの会話を「論理的でないバカ騒ぎ」と言っていたが、それでも、あえて、理由付けするならば、この台詞の後に注目だ。

場面に戻ると、この台詞のあとに、秋春が、「それにしても」と、話を変えている。つまり、この超比喩は、その前の会話を比喩したものだ、ということだ。

この前の会話とえば、行にしてたった2行の会話だ。

「窒素と酸素でできる石はー、何だっ！」

「石英ーっ！きゃははははっ！」

この会話のあと、超比喩が入る。

会話の内容に入ると、どうやら、巫女子と智恵の間でクイズが行われていることがわかるだろう。出題者は巫女子、解答者は智恵だと思われる。

ここで、クイズの内容だ。

巫女子が言う「窒素と酸素でできる石」とは、おそらく「五酸化二窒素（ N_2O_5 ）」のことだと思われる。窒素酸化物で固体なものがそれしかない。

そして、智恵が答えた「石英」とは、「 SiO_2 」、簡単にいえば「水晶」のことだ。

つまり、この問題は、智恵の不正解に終わっている。さらに、この会話の後に超比喩が来るだけで、巫女子は正解（答え）を言ってい

ない。ならば、この超比喩が、正解か不正解かを表しているのではないだろうか。

暗殺部隊が重機関銃を二百連発も撃ち込めば、たとえ標的を殺せたとしても、周囲に気付かれる。捕まらなかつたとしてもその時点で、「暗殺」としては失敗だ。つまり、暗殺部隊が重機関銃を使うのは「間違い」である、ということ。

話は長くなつたが、ようやく結論。

今回の超比喩は、「智恵の答えは間違っている」ことを、巫女子らしく言ってみた、と言つたところだろうか。だとしたら、わかりにくいことこのうえないのだが。。。まあ、酔つ払いの言うことに論理をもとめてはいけない、ということが。

コンビニにて殺人事件発生、ただし犯人ローラーブレード着用
みたいな……

超比喩第6弾。

思わず、いーちゃんも、あの戯言遣いも「言ってることの意味が少しも分からないよ」と匙を投げたこの超比喩。おそらく、これが今回最も難しいものかもしれない。

さて、まずは、今回の超比喩の内容だ。

コンビニで殺人事件ということは、被害者として最も確率が高いのは、店員だろう。客だとしたら、店員に間違いなく見つかる。おそらく、「コンビニ」と限定したのは、客のいない時間帯、夜中に犯行できるからだろう。24時間営業は伊達じゃない
では、問題は殺し方と、その結果だ。

犯人はローラーブレードを着用していた、ということは、犯人は逃

げる準備をしていたということだろうか。それ以外に用途が思いつかない。

だとしたら、犯人は万引きを企てていたのだろうか？

万引きの為にローラーブレードを着用したはいいが、万引きがばれて追いかけられ、焦ったあげく殺してしまった。

だが、これでは犯人は逃げてる最中に殺したことになり、つまり、外で殺したのであり、「コンビニにて」、に矛盾する。そもそもローラーブレードで逃げている途中で殺すのは、足場もうまく定まらないし、不可能に近い。

なら、この殺人は意図的な殺人だ。

つまり、犯人は最初から（・・・）殺すつもりでいたのだ。

そのうえで、ローラーブレードは一体何のために着用したのだろうか？

ローラーブレードを履いたことで起こることは何か。

それは、履いたことで地面との摩擦力が大幅に無くなる、ということだ。

ここで、犯人が意図的に殺害した、という話に戻ると、そこには凶器が欠かせない。

この場合、状況から考えて毒殺などはないだろう。ローラーブレードの意味が全くない。

凶器は刃物か銃器だろう。

犯人の凶器が刃物だったのか銃器だったのか、という議論は置いておく。その話は今回必要ではない。

犯人がローラーブレードを着用した今、そんなことは必要ではない。

刃物で人を刺すには勢いが必要であり、銃器は当然ながら撃つ必要がある。

この2つには、ある共通点がある。

それは、反動だ。

だが、そんなことは普通、何の心配もいらぬし、考慮する必要性もない。

それは、反動は足が地面を掴んで無意識に踏ん張っているからだ。しかし、今、犯人はローラーブレードを着用している。よって、普通は問題ない反動をもろに受けてしまうのだ。

その結果、身体は後ろに動いてしまう。

車輪は転がり続けるだろうし、心は殺人人によってある種の興奮状態であり、ブレーキをかけることも頭の中に無いだろう。

なら、止まり方は商品の棚に突っ込むか後ろにこけるしかない。商品の棚に突っ込んだ場合、その後は上から商品が落ちてきて、頭に当たって軽い脳震盪を起こして火花が散ったり、そうでなくとも商品が床に散らばって、傍から見たら、それはそれは無茶苦茶な光景だろう。当たらずにこけたとしても、コンビニ内は商品でぎっしりなので、あたる可能性は高いし、当たらなかつたとしても、後頭部強打で、脳震盪を起こしたりすることも確約されている。そして、それを見た警察も、なぜローラーブレードを着用していたのか、という根本的な疑問がわからないで、頭の中が混乱するだろう。

ここで、ようやく場面に戻る。

巫女子はこの台詞の前に、「頭いた……ぐるぐるする。」と、言っている。

もう決まりだろう。

今回の超比喩は、「巫女子が酔っ払って、頭が痛いし、視界もぐるぐるって混乱している様子」を表している。

その意味では、いーちゃんの「言ってることの意味が少しもわからないよ」という台詞も、案外的を射ている。さすがは戯言遣い、といったところか。

しかし、もう一つの解釈もできる。

ネタばれになるが、いーちゃんの推理では、この台詞の前に、巫女

子は智恵を殺しているのだ。

つまり、「この超比喩の中の「殺人事件」はもう現実に起きてるし、「この事件の犯人」は、巫女子自身なのだ」と、自白しているようにもとることができなのだ。

これが真実とすると、本当に、巫女子的超比喩は奥が深い。

今回はこれまで。

ネタが尽きてしまったので、こんな中途半端になってしまったが、続きはクビシメラスト編で。

ヒトクイも書けたらいいなあ……

葵井巫女子の比喩表現（超比喩） の謎。く酔っ払い時篇く（後書き）

毎度毎度読んでくださった方々、ありがとうございます。

さてさて、アンケートですが、前の考察である『寸鉄殺人』についてです。

様々な人からの御指摘により、『寸鉄殺人』は、

零崎常識

爆熱の殺人鬼

高笑いしながら殺す

ということが分かったわけですが……全然的外れでしたねorz
そこで、アンケート。

書き直したほうがいいのかそれとも書き直さない方がいいのか。
前の考察は消した方がいいのか。

この2点で悩んでいるので、できれば、答えてほしいです。

作者的には前の考察はちょっと気に入っているのですが、このままこの
の独自解釈として残しておきたかったり。

今のところ無期限ですので、どうぞよろしくお願いします。

ケンコーホーシ様、零岬試幽様、三木拓矢様、火乃迦具土様、感想
ありがとうございます。

三木拓矢様、こんなに長引いてしまってすみません。

クトルーちゃん様、まだまだリクエストに応えられそうになく、本
当にすいません。

これもひとえに作者の力量不足です（泣

これからもがんばっていきたいと思いますので、見捨てないでやっ
てください。

ではでは ノシ

〈葵井巫女子の比喩表現（超比喩）〉の謎。くくピシメラストく（前書き）

全くやる気ができません。

一種の夏バテ？

そんな言い訳から入りますが、本当に筆が進みませんでした。

《葵井巫女子の比喩表現（超比喩）》の謎。くくピシメラストく

「怖い夢を見た」

「へえ、どんな夢だったん？」

「朝起きて、歯を磨いて、朝ごはんを食べて、学校行って君と話して、授業を受けて家に帰って、そして寝た夢」

「…普通の日常やん。どこが怖いねん！期待して損したわ！！」

「いやいや、怖いよ。僕は夢の中でも現実と変わらない日常を過ごしてたんだよ」

「…」

「わかるかい？夢から覚めて、日付を確認したら明日になってないこの怖さが」

「……」

「もしかしたら、今こうして君と話していることだって夢かもしれない」

「…はは、そんなこと、あるわけないや」

「本当にそう言い切れるかい？これが現実だっていう証拠は？」

「……」

「君は言うかもしれない、『じゃあ、これが夢だっていう証拠は？』

と。でも、そんなこと誰にも証明できない。もちろん、これが現実だという証拠も」

「……」

「そのうえでもう一度質問しよう」

『これは夢なのかい？』

《私服OKの一流進学校、なのに全員学生服》みたいなの！

この台詞は、いーちゃんがラッタッタではなくベスパと呼べと命令し、驚いた時の台詞。

いつも通り内容から。

「私服OKの一流進学校」というのは、一体どういう状況を指しているのだろうか？

進学校は普通、生徒の規律を守らせたり、同じ道を進む仲間としての連帯感を持たせて、勉強しやすい環境を作るために統一化を図り、その手段として「制服着用の義務」を校則として設けている。

では、それが無い、ということはどういうことか。ここで「一流」という言葉が生きてくる。

私服OKで「一流」ということは、「制服着用の義務」無くしても進学校として機能し、なおかつ他の進学校と比べてもレベルが高いということだ。

つまり、制服の連帯感による進学という同じ目標に向けさせるの努力、という学校側の強制力を無くしても、個々人が自立して進学に向けて努力できる、ということだ。

もちろん、そうなるには入学の際に、かなりの倍率だったり、難度の高い試験があったりするだろう。

そんな狭き門をくぐり抜けた生徒だからこそ、学校側も私服を容認しているのだ。

だが、「私服OK」ということは当然、制服もあることにはあるのだ。

そして、今回の比喩は「全員制服」。

「私服OK」に憧れて受験しよう、という受験生もいるはずだ。なのに、「全員制服」。

これは、普通何かの強制力が無い限り『有り得ない』ことなのだ。そう、ぶつちやけ有り得ない。

そんな『有り得ないこと』をこの比喩は言っていると仮定して、今回の超比喩の場面を見てみよう。

いーちゃん曰わく「ベスパ」を巫女子が「らったった」と言ったことから、珍しくいーちゃんが怒って、「ベスパ」と呼べ、と命令したことに巫女子が驚いて出た台詞。

巫女子は、いーちゃんに対して、何が起こっても常に冷静で動じない、他人にあまり干渉しない、あとちよつと天然が入っている（キムチ丼のご飯抜きキムチだけ、江本智恵の誕生日に生八ツ橋を渡す等）、といった印象を持っていたと思われる。

なので、そんないーちゃんが、怒り、そして、他人に命令する、という絶対にやらなそうな、『有り得ないこと』をしている、と彼女からしてみれば思ったのだろう。

ということ、今回の超比喩は、「今の状況は有り得ない」ということを表したものだ、と考察する。

《素人探偵 浅黄蝉丸あきぎせみまる、密室首斬り殺人事件を即座に解決、ただし犯人現行犯》みたいなの！

いーちゃんが貴宮むいみの代わりに巫女子の家を訪ねた時の巫女子の慌てぶりからでた台詞。

ここでいう「探偵」は、物語の中だけの、事件を推理し、解決に導く職業を指すのだろう。素人ということは、まだまだ駆け出しの新

人、と言ったところか。

次に「浅黄蝉丸」という名前だが、同姓同名で実在する人物はいない。西尾氏の創作だろう。

なので、性と名を解^ばして考えてみた。それによると、「浅黄」は「浅葱」とも書き、日本の伝統的な色で、その色は薄い黄色だ。名字にもなっているが、これは、物語の舞台が京都だから、それと関連させて、ということだろう。特に深い意味はないと思われる。

一方、「蝉丸」だが、これはかの有名な「百人一首」の中にある、「これやこの行くも帰るも分かれつつ 知るも知らぬも逢坂の関」を詠んだ、坊主めくりや、トランプとして扱う時の「ジョーカー」役としても用いられる歌人だ。また、蝉丸トンネル（名神高速道路大津IC - 京都東IC間にあるトンネル）もあり、これも京都関連だろう。

これらを踏まえた上で、超比喩の内容に移ろう。

まず、「密室首斬り殺人事件」だが、これは、「蝉丸」という名前と百人一「首」と関連づけている、と見るべきだろう。また、前作のクビキリサイクルとも関連付けていると言える。密室で首斬り殺人事件、しかも犯人現行犯なんて、これで関係ない方がおかしい。（詳しくは、クビキリサイクル読もう）

さて、現実には「首斬り密室殺人事件」が起こるかどうかは別として、起こったとしたら、それを「素人」の探偵が解決できるものだろうか？ まあ、普通は無理だろう。だからこそその「素人」だ。

なのに解決した…これには何らかの裏がある、と思つたら、実は犯人現行犯というなんと手間抜けなオチだ。

しかし、奇妙に思わないだろうか。

何故「素人探偵」という如何にも事件を解決できなさそうな者に解決を依頼するのか？（依頼されたかはわからないが）

何故「密室」にも関わらず犯人を現行犯で逮捕できるのか？

何か裏があるのでは？ 犯人は誰だ？、等疑問は多々あり、全く持つて意味不明だ。

後の巫女子の台詞でも「なんで？あたしわからない！」と言っている
るので、案外、これが正解なのかも知れない。

しかし、これでは短いので、もうちょっと掘り下げてみよう。

さっきも言ったように、この超比喩の内容は、前作の「クビキリサイクル」の事件と酷似している。「素人探偵浅黄蝉丸」をいーちゃん、「犯人」を園山赤音（？）と置き換えれば、この事件はまさに鴉の濡れ羽島で起こったあの「密室首斬り殺人事件」だ。

さらに、蝉丸はランプでいう「ジョーカー」、ゲームによっては「切り札」であつたりり、また「最悪」だつたりするカード。そして、蝉丸の人物像は不詳。これほどいーちゃんに似合うものはないだろう。

また、いーちゃんは犯人を追いつめ、ボ口を出させて現行犯として捕まえている。誰しもがこの超比喩を見て前作を思い出さずにはいられない。それを西尾氏が狙つてやったとしか思えない。

つまり、今回の超比喩は、「突然訪ねてきたいーちゃんに思考が混乱して錯乱状態の巫女子の気持ち」を表したものであり、「前作との繋がりを狙つた西尾氏の遊び心が作った比喩」であると考察する。

〈葵井巫女子の比喩表現（超比喩）〉の謎。くクビシメラストく（後書き）

お疲れ様でした。

暑さでやる気が全く起きません。

だれか、頭がシャキツとするようなもの知ってたら教えてください。

三木拓矢様、本当に申し訳ありませんでした。

次こそは、次こそは終わるはずです。

今回はヒトクイ篇です。

どうかよろしくお願ひします。

アンケートの方もよろしくです。

ではでは ノシ

葵井巫女子の比喩表現（超比喩）の謎。〜ヒトクイ篇〜（前書き）

遅くなつてすいませんでした。

バイト、とか慣れないことすると身体の調子がおかしくなるなあ、
とか言い訳を試してみたり。

ごめんなさい、戯言です。

ではでは、どごご。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩）の謎。〜ヒトクイ篇〜

夏が終わる。

いろいろなものも同時に終わる。

しかし同時に始まるものもある。

人生は終わりと始まりの繰り返し、ということですよ。

バックスクリーン直撃の大ホームラン、ただし始球式 みたいな
っ！

いーちゃんが木賀峰約のことを知らないと言って驚いた時の台詞。
いつも通り、超比喩の内容から。

まず、始球式というのは、御存じのように、試合前のエキシビションとして、有名人や野球少年などのいわゆる「野球の素人」がピッチャーとして球を投げ、それを、バッターボックスにいるプロの野球選手がわざと大げさに空振りすることで終わる、そんな一種の慣習的な儀式のようなものだ。

そう、バッターであるプロ野球選手は、どんなに打ちごろの球が来ても、必ず空振らなければならぬのだ。

それが「始球式」なのだから。

だが、この超比喩の中のバッターであるプロ野球選手はそんな「常識」を知らなかったようだ。しかも、「バックスクリーン直撃の大ホームラン」を放てるほどの実力があるのに、だ。いわゆる「能力のある常識知らず」である。

ここまでの能力があるならば、確実に所属チームの代表的な立場、打順では4番の大役を任せられるであろう彼は、実は始球式のしきたりのような、野球に関わるものなら誰もが知っているような「常識」を、プロの野球選手である彼は知らなかったのである。

観客はそれはもう啞然としただろう。スタジアムが沈黙する様がありありと目に浮かぶ。

そんな観客の心は一つになる。

『信じられない』、と。

ここで、状況確認。

いーちゃんを心から慕っている葵井巫女子からすれば、「恋は盲目」という言葉があるように、いーちゃんは彼女の中では理想的な人に映るのだろう。

また、木賀峰約に憧れてる彼女からすれば、そんな理想的な彼が、木賀峰約という、「くする」ことは予測していましたが」という口癖である意味有名な、鹿鳴館大学に携わる者ならばもはや知らない人はいないほどの「常識」を知らなかったのだ。

また、いーちゃんは、巫女子いわく、「何て言うか、話しかけにくいんだよ。この辺に壁張ってるっていうか。ATフィールド全開っていうか。しかもそのくせ教室の端じゃなくてど真ん中に鎮座してるし」という言葉や、4月の最初頃、学校に行かなかったことからわかるように、いーちゃんもある意味「この大学の有名人」なのだ。

まさに、上の超比喩の状況である。これはもう間違いないだろう。

ということ、今回の超比喩は、「大学の有名人であり好きな人が、大学内での常識（木賀峰約）を知らなかったことを信じられない、と感じる巫女子の気持ち」を表すものである、と考察する。

みんなで渡れば怖くない、ただし丸太橋　みたいになっ！

「いやーちゃんが貴宮むいみや江本智恵の白衣姿を想像したことに、「不謹慎だ」と言った後の巫女子の台詞。

「みんなで渡れば怖くない」というのは、よく「赤信号」を前に付けて言われる一種のスローガンのようなものだ。この時点で、「というか、そもそも赤信号渡るな」等突っ込みたくなる気持ちは置いておこう。数は正義なのだ。

まあ、確かに、集団で渡ることは個人で渡るよりもはるかに安全度が高いのは事実だ。

だが、それはあくまで普通の横断歩道での話だ。今回のケースは残念ながら普通ではない。

なぜなら、「丸太橋」を渡るのだから。

さて、「丸太橋」と言ってもいろいろある。

本当に丸太が両岸にかかっているだけのものもあれば、人工的に同じようなサイズの丸太を繋げて車も通れるほどの幅と強度を持つものも存在する。

しかし、今回の超比喩では、話のオチとして使われているので、人ひとり分の幅しかない本当の丸太橋、という線が強い。みんなで渡れば怖くない、ではなく、みんなで渡ると怖い、のだ。

横断歩道の場合、みんなで渡るには、横に広がるのが一般的だろう。しかし、丸太橋となると、みんなで渡るのは安全にはほど遠く、むしろ自殺行為とも呼べるだろう。なにせ、丸太橋にはひとり分し

か幅はなく、そうなると必然的に縦にならんでひとりずつしか渡れないのだから。危険がいつぱいだ。

さて、みんなで渡るときにイメージするものといえば、やはり、「手を繋いで渡る」であろう。その状態で丸太橋を渡るとしたら、どうなるだろうか？ひとりバランスを崩すだけで、渡っている全員がバランスを崩して落ちてしまう、というどう考えても安全とは言えないスリリングな行為へと昇華されるだろう。

だが、渡り切った者からその危険はなくなる。足場はもう地面なのだから。

すると、まだ渡っている者の中にある感情が少なからず生まれる。

そう、「嫉妬」だ。

自らはまだ危険な状態なのに、あつちはまだもう安全を手に行っている。

そんな状態では、嫉妬をしてしまうのも無理はないはずだ。

ここで、場面は戻る。

巫女子は、いーちゃんが江本智恵や貴宮むいみの白衣姿は想像していたのに、自分の白衣姿は想像していない（実際は想像していたのだが言っていない）いーちゃんに怒り、想像された智恵やむいみに対して嫉妬してしまった、と考えられないだろうか？

好きな男が他の女のことを考えていたら、そうになってしまう気持ちも想像に難くない。

ゆえに、今回の超比喩は、「自分の白衣姿は想像されず、他の女の白衣姿を想像したいーちゃんに怒り、想像された他の女に対し嫉妬してしまう巫女子の気持ち」を表す、と考察する。

それにしても、いくら超比喩でわかりづらくなっているからといっても、言葉にだしてしまっているのは、さすが、というべきか。

打ち上げ花火百連発、ただし突き抜けるような青空の下で みた
いなっ！

「いーちゃんが巫女子と木賀峰約とのエピソードを聞いて、「やばい人」と感想を漏らして、怒った巫女子の台詞。

花火といえば夏の風物詩。夜空で見上げる打ち上げ花火はそれはそれはきれいなものだろう。あくまで「夜空」限定だが。

打ち上げ花火を百連発、なんて、花火大会くらいでしかできない。費用もたくさん必要だ。

だが、夜空に浮かびあがる火の花、それも百連発はさぞかし華があることだろう。まあ、あくまで「よ・ぞ・ら」限定なのだが。

そう、この超比喩では、太陽が燦々（さんさん）と降り注ぐ雲ひとつない青空の下で打ち上げてしまうのだ。とてももったいないし、パン、パン、と音だけ響いて見えないうるさいだけの花火はとても不愉快だ。

つまり、とても無駄で、不愉快なのだ。

場面を戻そう。

巫女子が尊敬する木賀峰約とはどれだけすごい人なのか、とエピソードを語る巫女子の思惑では、いーちゃんも尊敬まではいかないが、感嘆くらいはするだろう、と思っていたのではないだろうか。

しかし、いーちゃんは「やばい人」と評価した（まあ、「予測していました」が口癖の人なんてやばい人以外考えられないが）。

巫女子からしたら、思惑が「無駄」になったのだ。

それに自分と尊敬する人のエピソードなのだ。それなりに大切なはずである。

そんな大切な思い出を傷つけられたのだ。「不愉快」になるのも仕方がないことである。

というわけで、今回の超比喩は、「尊敬する人の良さを物語るはずだったエピソードが無駄になり、あまつさえ傷つけられてしまった、不愉快になった巫女子の気持ち」を表すものだ、と考察する。

百万ドルの笑顔、ただしマクドナルド　かつ　サマータイム導入、
ただし吸血鬼　にして　顔面セーフあり、ただしボクシング　み・
た・い・なーっ！

いーちゃんが「格好いいひとは例外なく背が高い。巫女子ちゃんには全然無理」とさらっと言ったことに対し、激怒する巫女子の台詞。初三連コンボにして最後の超比喩。
超比喩の内容は今回はいたって簡単だ。

まず、百万ドルのマクドナルド　だが、「百万ドルの笑顔」とは、文字通り、「百万ドルを払ってもいいほどの価値のある魅力的な笑顔」のことだ。それが、マクドナルドなので、「スマイル0円」、つまり無料。タダ。魅力的な笑顔の大安売りだ。はつきり言ってお得である。役得、役得。

まあ、今回の「百万ドルの笑顔」とは、まず間違いなく「いーちゃん」のことであろう。実際笑顔であったかはわからないが、巫女子にとっては「いーちゃんそのもの」が、百万ドルの笑顔なのだ。そうなると、さつきはわからないと言ったが、いーちゃんは笑顔だった可能性が高い。それを見れて、巫女子としてはうれしいのではないのだろうか。

次に、サマー吸血鬼　だが、「サマータイム」とは、簡単にいえば、「夏は明るい時間が多いので、昼を長く、夜を短く設定しよう」というような制度である。人間としては外での活動時間が長くなる（門限が遅くなったり）ので結構お得な制度なのだが、闇に生きる、夜の王として有名な吸血鬼にとっては傍迷惑な代物である。夜行性の彼らにはサマータイムは無駄なもので、邪魔なものである。せっかく百万ドルの笑顔級のいーちゃんの笑顔を見れたのに、その笑顔のまま「巫女子ちゃんには全然無理」と言いたいーちゃんの台

詞は、無ければよかった、「邪魔なもの」として扱われるだろう。

そして、顔面セーフボクシング。

顔面セーフ。とは主にドッジボールに用いられるルールであり、これにより、首から上にボールが当たってもアウトにならない、という制約がつく。

これをボクシングに用いたらどうなるか。

まず、首から上への攻撃は全て無効となってしまう。たとえ顔面を殴ってKOさせても、顔面だからということでは切り直しさせられてしまう。そのため、やるなら身体への攻撃のみ、となってしまう。まさに「やるならボディーにしな！」を体現してしまっている。

倒した相手は理不尽だ、と怒ってしまうだろうが、倒された相手はラッキーと喜んでしまう。とても複雑な心境となるだろう。

まあ、そんなわけで、ボクシングでの顔面セーフ適用は、とんでもないことなのだ。

つまり、いーちゃんは、巫女子に背の話題、という禁句タブーワード、とんでもないことを言ってしまったのだ。

というわけで、今回の超比喩は、「いーちゃんの笑顔が見れてうれしい」けど、「巫女子ちゃんには全然無理」という言葉は邪魔だった』にして『背の話題はタブーだ！と怒っている』という巫女子の複雑な心境」を表したものの、と考察する。

このあと、巫女子はいーちゃんに首チョップをかまそうとしたが、いーちゃんが「巫女子ちゃん最高」と言ったおかげで寸止めで済んだのもまた、複雑な心境である。

これにて、葵井巫女子の比喩表現は終了。
お疲れ様でした。

葵井巫女子の比喩表現（超比喩） の謎。〜ヒトクイ篇〜（後書き）

まず、謝罪を。

待っていてくれた方々、本当にもうしわけありませんでした。
人生初バイト、なんて浮かれてたらこの様だよっ！
一週間で3キロ痩せるとかバカなの…orz

まあ、そんなこんなでようやく超比喩終わりました。

三木拓矢様。

大変長い間待たせてしまつて本当にすいませんでした。

まだまだ僕にはリクエストは早かったか（泣

次はいつ更新するかわかりませんが、これからもよろしく願います。
ます。

いつも通り、ここ違くんE?とか御指摘や感想も歓迎しますので、
ぜひ書いて言ってね！

ではでは ノシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4655m/>

戯言シリーズの謎。

2011年9月10日11時41分発行